

地域ケア会議で取り組む社会資源マップを活用したまちづくり

牛窓町地域ケア会議 月1回開催 ～平成24年度の取り組み～

【出席者】民生委員、地域包括支援センター職員、在宅介護支援センター職員、居宅介護事業所ケアマネジャー、市民病院ソーシャルワーカー、社会福祉協議会職員 15名

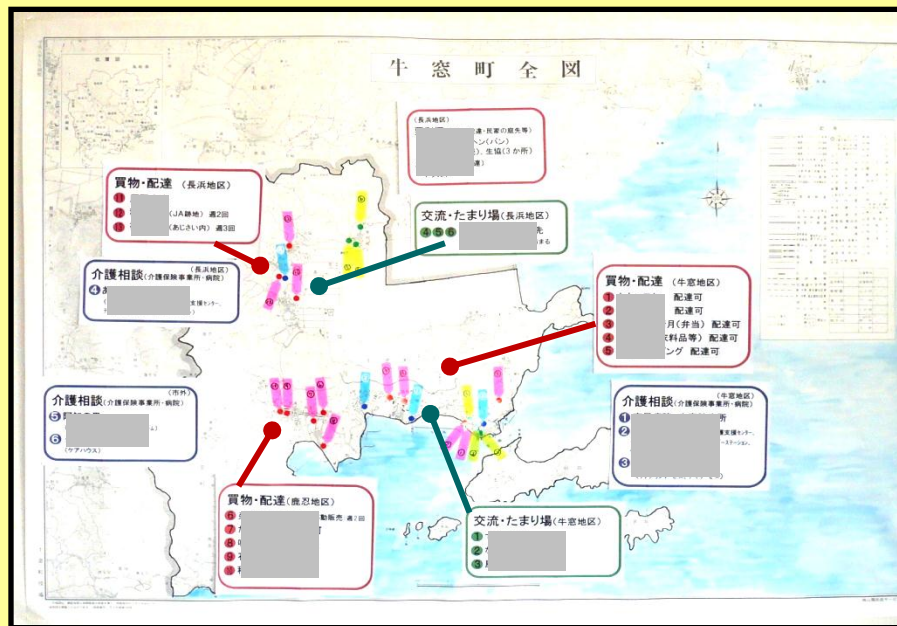
【社会資源マップ作成の目的】高齢者が安心、住みやすい地域とは何か、ケア会議を通じて参加者と一緒に課題を整理する。マップ作成により、地域課題と高齢者福祉ニーズの整理につながり、今後の課題を検証する。

社会資源の抽出により、
地域の社会資源の分布を確認

高齢者の生活に密着
した個人商店、移動販
売、交流拠点等を抽出

【ワークショップから
見えてきたもの】
独自のコミュニティ
(交流・たまり場)
が定着している。

【ワークショップから見えてきたもの】
社会資源分布の顕著な偏り
資源のない地域には、
福祉ニーズが眠っているはず・・・??



今後の取り組み

小地域（集落等）ごとの地域
特性から課題を推測

社会資源の充足・不足の具合
を調査、検討

不足している社会資源や新たな
資源の開発についての取り組み

【例】

商店が無い

高齢独居が多い

買物ボランティア
不足→育成

移動販売・
配達の充実